

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

昭62-198378

⑬ Int. Cl.<sup>4</sup>

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和62年(1987)9月2日

A 24 D 3/04

7329-4B

1/04

7329-4B

A 24 F 13/06

8114-4B

審査請求 未請求 発明の数 2 (全3頁)

⑮ 発明の名称 フィルターとフィルター付き煙草

⑯ 特 願 昭61-38275

⑰ 出 願 昭61(1986)2月25日

⑱ 発 明 者	高 津	和 夫	東京都府中市美好町2丁目27-43
⑱ 発 明 者	高 津	教	東京都府中市美好町2丁目27-43
⑱ 発 明 者	高 津	政 幸	東京都府中市美好町2丁目27-43
⑱ 発 明 者	高 津	賢	東京都府中市美好町2丁目27-43
⑰ 出 願 人	高 津	和 夫	東京都府中市美好町2丁目27-43
⑰ 出 願 人	高 津	教	東京都府中市美好町2丁目27-43
⑰ 出 願 人	高 津	政 幸	東京都府中市美好町2丁目27-43
⑰ 出 願 人	高 津	賢	東京都府中市美好町2丁目27-43

## 明 細 書

## 1. 発明の名称

フィルターとフィルター付き煙草

## 2. 特許請求の範囲

- (1) 液体を含浸させた吸液材外周に防水被膜を設けた筒状カプセルと、フィルター本体とが同心的に並べられ、その外周に片面層が設けられていることを特徴とするフィルター。
- (2) 片面層が紙、防水紙、またはパイフであることを特徴とする、特許請求の範囲第1項記載のフィルター。
- (3) 液体が水、香料、甘味料、薬液のうちの1または2以上で構成されていることを特徴とする、特許請求の範囲第1項及び第2項記載のフィルター。
- (4) 液体を含浸させた吸液材外周に防水被膜を設けた筒状カプセルと、フィルター本体とが同心的に並べられ、その外周に片面層が設けられたフィルターが、煙草本体の一侧に一本的に取り付けられていることを特徴とする、フ

ィルター付き煙草。

- (5) 片面層が紙または防水紙であることを特徴とする、特許請求の範囲第4項記載のフィルター付き煙草。

- (6) 液体が水、香料、甘味料、薬液のうちの1または2以上で構成されていることを特徴とする、特許請求の範囲第4項及び第5項記載のフィルター付き煙草。

## 3. 発明の詳細な説明

この発明は煙草の味をよくしたり、ニコチン含量を減らすことができたり、或いは禁煙用にも利用することができ、フィルターと、フィルター付き煙草に関する。

ター、ニコチン、一酸化炭素は煙草の主要成分の元凶といわれており、咳、痰、ガン等の発生源となる他、末梢血管を収縮させて心臓血管系や胃に悪影響を及ぼし、或いは全身の酸素不足を招くこと等は衆知のことであるが、強力な習慣性をもつため喫煙者が禁煙することは至難である。

この発明は、焚煙用を利用することができたり、ニコチンセターを降ろさることができたり、或いは味をよくすることができると外機能のフィルターと、フィルター付き煙草を提供することを目的とするものである。上記目的に於てこの発明のフィルターは、液体を含浸させた吸液材外周に防水被膜を設けた筒状カプセルと、フィルター本体とが同心的に並べられ、その外周に表面層が設けられていることを特徴とし、この発明のフィルター付き煙草は、上記フィルターが、煙草本体の一例に一体的に取り付けられていることを特徴とする。

以下この発明の実施例を添付図面を参照して詳細に説明する。

第1図はカプセル4例を示し、カプセルAは液体を含浸させた吸液材（繊維集合体や綿線のような多孔質体）1の外周に防水被膜2を設けたものであり、カプセルの防水被膜には、カプセルBに示されるように防水被膜2の内面に砂や金屑等の粒子（片でもよい）3を固着しておい

ランデー、ウイスキー等の香料、黒砂糖油等の甘味料、及び吸煙器具等の毒液のうちの1または2以上が、単体で、或いは混合物として使用される。

この発明のフィルターは上記カプセルとフィルター本体とが同心的に並べられ、その外周に表面層が設けられたものであるが、カプセル1例としてカプセルAを用いたフィルター付き煙草を例にとり、フィルターとフィルター付き煙草について説明する。

第2図は煙草本体（実施例では紙巻煙草）6にフィルター5を取り付けたフィルター付き煙草3例を示し、煙草6のフィルター5は、カプセルAとフィルター本体4とが同心的に並べ、その外周に紙を巻回して糊付けしたものである。カプセルAの上を指すつまんで押圧しなからずとも、その防水被膜が破れて液体が流出し、煙草に火を付け吸うと、液体が水であれば水煙草のような効果を生じ、水にはニコチンセター等が吸着され、香料であれば香気を楽しめることが

でき、カプセルCのように、防水被膜2の外周に粒子3を固着しておいてもよく、カプセルDに示されるように防水被膜2の内外面に粒子3を固着しておいてもよい。粒子3を防水被膜に固着するのは、フィルターを指すつまんで押圧しなからずとも、防水被膜2を破れさせるためにあり、尚カプセルには何れも筒状に形成され、その製造は、吸液材に液体を含浸させてあり、その外周に溶解した熱可塑性物質を吹きつけて外周被膜を形成し、冷却して防水被膜としたり、防水紙を防水フィルムを吸液材1の外周に巻回して糊付けし、切断して両側の端面を防水処理したり、防水被膜が熱可塑性物質であれば、吸液材外周に巻いた状態で切断部位を熱圧着かつ切断すること等によりつくることができ、ハッキリ、直ぐハッキリ等によりつくることができる。尚直ぐハッキリする場合は吸液材に含浸した液体を揮発させて直ぐハッキリすることは好ましい。また吸液材に含浸される液体には、水、ハッカ油、ミナモト、バニリン、

で、無効であれば無効を期待することができ、尚火が煙草本体のフィルター旁りに近づくと、流出して拡散した液体により火は消える。図中のカプセルAは左側に配設されているが、右側に配設してもよく、この場合は消火作用はより顕著でよいが、香料等を楽しむことができる。尚フィルター5は煙草6に示されるように、両側のフィルター本体4、4間にカプセルAを配設したものであってもよく、煙草6のように3個のフィルター本体間に2個のカプセルが配設されたものであってもよい。複数のカプセルを設けたものは複数の効果例えば水煙草の効果と香料を楽しむ効果を得る。即ちフィルターには1または複数のカプセルを設けることができる。尚フィルターの上表面層は紙であつてもよく防水紙或いはプラスチックフィルム等の防水層であつてもよい。防水層は煙草本体6のフィルター5旁りにも設けることができる。

以上フィルター付き煙草について説明したが、この発明のフィルターはパイプにも利用されるこ

とができる。

第3図は、パイプ本体7内にフィルター本体4、カプセルA、フィルター本体4と順次挿入し、吸口8をパイプ本体7に着脱自在に内装体止したパイプ状フィルター1例を要し、パイプ本体7の他側には煙草差し込み口7aが形成され、煙草差し込み口7aは通気孔7bを介してパイプ本体7内に連通している。そしてパイプ本体7は指でつまんで押圧すると凹をようち管でつくられており、パイプ本体7を指でつまんで押圧し圧力をもと、カプセルAの防水層膜が破れ、内部の液体が拡散する。そこで煙草差し込み口7aは煙草を差し込み火をつけて喫煙する。いわゆるフィルター付煙草のフィルターと煙草を着脱自在としたようなものである。カプセルAはフィルターを選択することにより好みの香料を挿し込んだり薬効を期待することができる。

この発明の1実施例に使用したもののまたは方法が他の実施例に適切であれば、要旨を変更しない範囲内で他の実施例に使用し、利用し、若

しくは応用することができ、

この発明は前記のように構成され、煙草の味をよくしたり、ニコチン等を減らすことができたり、フィルター片にいたっては煙草用にも利用できる等、99%の効果を有する。

#### 4. 図面の簡単な説明

第1図はカプセル4例の断面図、第2図はフィルター付煙草3例の断面図、第3図はフィルター1例の断面図である。

特許出願人

高津利夫  
高津敏  
高津政幸  
高津賢

